






SDGs宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2023 年 1 月 30 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
快適で豊かな生活環境の創造を核とした活発な企業活動の展開と人づくりの実現により、持続可能な地域社会の発展に寄与する。			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
平成6年「木内建設記念奨学基金」を、平成31年「木内建設奨学財団」を設立し、静岡県内において学業優秀かつ品行方正で、将来社会のリーダーとして活躍を期待できる高校生や経済的に就学困難な高校生を支援し、社会有用な人材育成に資するべく、返還不要な奨学金の支給事業を行っている。			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2022年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2023年12月31日までの取組目標
	今年度も基金と財団合計で新たに20名以上の生徒に奨学金を支給する。	基金と財団合計で新たに24名の生徒に奨学金支給を開始した。	今年度も基金と財団合計で新たに20名以上の生徒に奨学金を支給する。
	女性技術者を1名以上採用する。	2024年4月女性技術者1名入社予定。	女性技術者を1名以上採用する。
	継続して働き方改革委員会を隔月1回以上開催する。活動の補完として分科会を有効に機能させ、ディーセント・ワーク実現に繋げていく。	働き方改革委員会の隔月開催と併せ、より実効性のある分科会活動の充実によりディーセント・ワーク実現への具体的要改善事項等を検証中。	継続して働き方改革委員会を隔月1回以上開催する。また分科会の有効機能により、具体的なディーセント・ワーク実現策に繋げていく。
	引き続きアンケート調査実施による顧客満足度向上に取り組んでいく。	施工現場終了毎にアンケート調査を行い、結果を集計し顧客満足度向上に取り組んだ。	引き続きアンケート調査実施による顧客満足度向上並びに品質維持向上に取り組んでいく。
	新本社機能を有効活用し、CO2の削減に継続して取り組む。	地下水オパ-フローに伴う揚水ポンプ常時稼働等により、累計年間電力使用量前年対比6.0%UP、CO2排出量13,258kg-CO2/kwhUPとなった。	夜間照明器具、サイン看板等の点灯時間並びに全館空調制御(温度設定)の見直しにより具体的にCO2排出量を削減する。

(記載上の注意)

- 取組目標は**3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載**してください。
- 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は関連事業者等の名称	木内建設株式会社	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	12 事業所
2	業 種	2. 建設業	
3	従業員（構成員）数	494 人	
4	代表者 職・氏名	職 名	代表取締役社長
		氏 名	木内藤丈
5	所 在 地	〒 422-8633	
		静岡市駿河区国吉田1-7-37	
6	ホームページURL	https://www1.kiuchi.jp/	